

# 岩手県感染症週報

平成27年第3週(1月12日～1月18日)

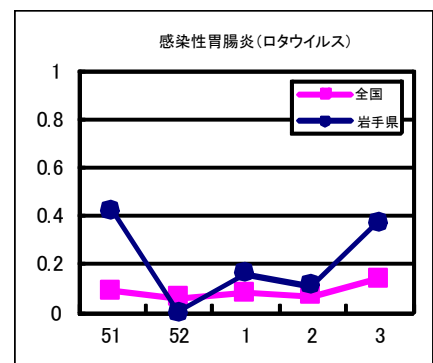
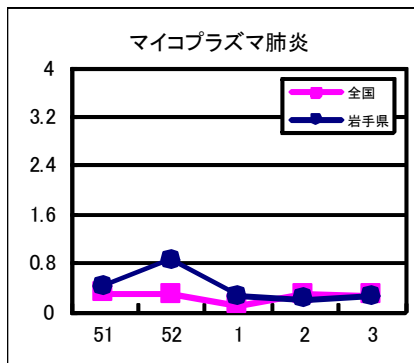
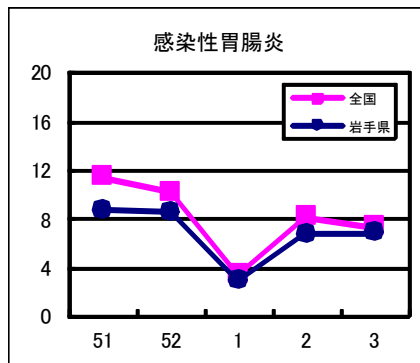
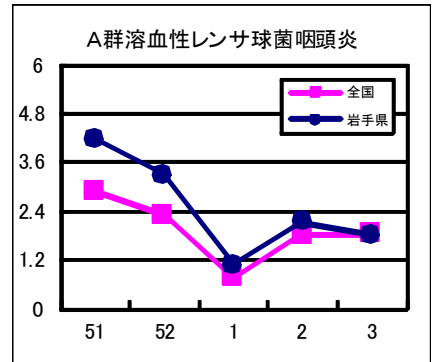
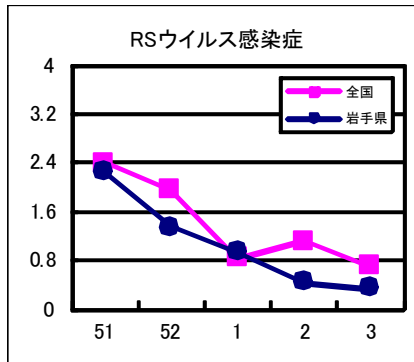
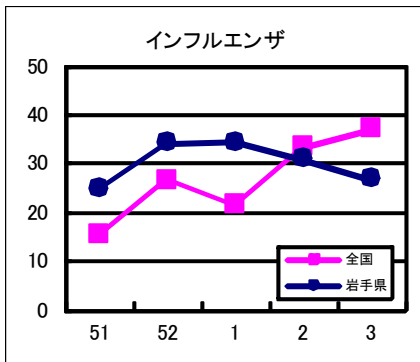
岩手県感染症情報センター

## 第3週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核 の患者 の報告が2例ありました。このうち1例が潜在性結核です。
- 3 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)  
・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)  
・インフルエンザは、やや減少し定点あたり患者数26.75人と警報値(定点あたり患者数30人)を下回りました。一関、久慈および二戸地区で警報値を超えています。特に二戸地区では2週続けて50人を超え大きな流行となっています。症状は、急な発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳等の呼吸器症状がこれに続きます。疑われる症状がある場合には早めに医療機関を受診し、咳やくしゃみがある場合は他の人にうつさないためマスクをするなど周囲への配慮が勧められます。
- ・感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数の報告がありました。報告数の多かった二戸地区で減少しましたが、中部および奥州地区で多くなっています。ノロウイルスによる集団感染事例や食中毒事例が発生しています。予防には、石けんと水を用いた十分な手洗い、患者の汚物の適切な処理、食品の十分な加熱が重要です。
- ・伝染性紅斑(リンゴ病)は、二戸地区で多い状況が続いており、2週続けて警報値(同2人)を超えました。県央地区でも多くなっています。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが異なることに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		51	52	1	2	3		
インフルエンザ	岩手県	24.73	34.17	34.28	30.74	26.75	→	☆☆☆
	全国	15.17	26.63	21.46	33.28	37		
RSウイルス感染症	岩手県	2.23	1.33	0.93	0.43	0.33	↘	☆
	全国	2.38	1.95	0.82	1.1	0.69		
咽頭結膜熱	岩手県	0.58	0.4	0.13	0.38	0.1	→	☆
	全国	0.65	0.55	0.21	0.39	0.23		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	4.18	3.28	1.08	2.13	1.8	→	☆
	全国	2.89	2.31	0.74	1.81	1.84		
感染性胃腸炎	岩手県	8.78	8.6	2.9	6.83	6.9	→	☆
	全国	11.49	10.26	3.47	8.2	7.39		
水痘	岩手県	2.05	0.75	0.93	1.35	0.7	→	☆
	全国	1.26	1.09	0.57	1.1	0.52		
手足口病	岩手県	0.03	0.03	0	0.03	0.03	→	
	全国	0.7	0.58	0.15	0.26	0.23		
伝染性紅斑	岩手県	0.38	0.55	0.25	0.75	0.45	→	☆☆
	全国	0.36	0.32	0.1	0.44	0.43		
突発性発疹	岩手県	0.4	0.43	0.13	0.23	0.4	→	☆
	全国	0.44	0.39	0.15	0.43	0.42		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0.03	0	0.05	0.03	→	
	全国	0.06	0.05	0.01	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.15	0.15	0.05	0.1	0.18	→	☆
	全国	0.32	0.31	0.14	0.43	0.26		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.64	0.86	0.64	0.93	0.36	→	☆
	全国	0.54	0.54	0.22	0.73	0.46		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.01	0.03	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.42	0.84	0.26	0.21	0.26	→	☆
	全国	0.31	0.28	0.11	0.28	0.27		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0	0.01	0		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.42	0	0.16	0.11	0.37	↗	☆
	全国	0.09	0.06	0.08	0.07	0.14		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	32	41	47	103	63		
	全国	379	720	1124	1,793	1,750		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が  
2013年10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		51	52	1	2	3	累計	3	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者再掲	4 (0)	12 (6)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	4 (1)	256	753
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	4
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	21	44
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	1
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	1
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	5
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	14
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	1
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	8
	デング熱	0	0	0	0	0	0	7	16
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	1	0	0	0	0	16	58
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県					全国		
		51	52	1	2	3	累計	3	累計
五類 感 染 症	ア메ーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	12	31
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	5
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	0	12	39
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	5	30
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	25
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	0	18	44
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	16
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	44	162
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	0	2	12
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	21	46
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	1
	風しん	0	0	0	0	0	0	2	3
麻しん	0	0	0	0	0	0	3	3	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
指 定	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

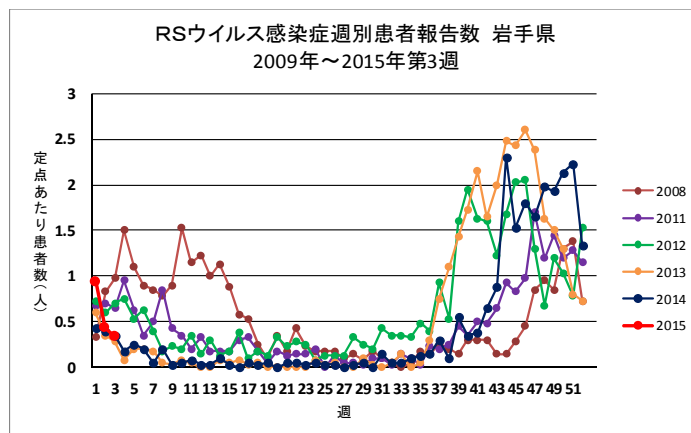
今注目の感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルス (respiratory syncytial virus) を原因とする呼吸器感染症です。終生免疫は獲得されず、年齢を問わず生涯にわたり顕性感染を繰り返し、生後1歳までに半数以上の児が、2歳までにはほぼ100%の児が初感染を受けるとされています。症状は、軽い風邪の症状から重い肺炎までいろいろです。初めて感染した場合には、肺炎や細気管支炎など重篤な症状を起こす場合があります。無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症なども注意すべき合併症です。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎を起こすことが知られています。盛岡市でも、12月に、高齢者の施設で、集団感染事例が発生しています。

例年、冬期に発生のピークが見られますが、2012、2013年は9月上旬から報告数の増加が始まりました。2014年は、第42週 (10月中旬) から報告数が増加し始め、第44週以降、報告数の多い状況が続きましたが、第52週以降減少しています。

RSウイルス感染症に関するQ&A [http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html)



今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

インフルエンザは、第52週に県全体で定点あたり患者数34.17人と警報値(30人)を超え、警報が発令されました。第3週は、26.75人と警報値を下回りました。冬休みがおわり学校が始まるとさらに患者が増加する可能性があり、引き続き注意が必要です。地区別では一関、久慈、および二戸の3地区で警報値を超えています。特に二戸地区で大きな流行となっています。

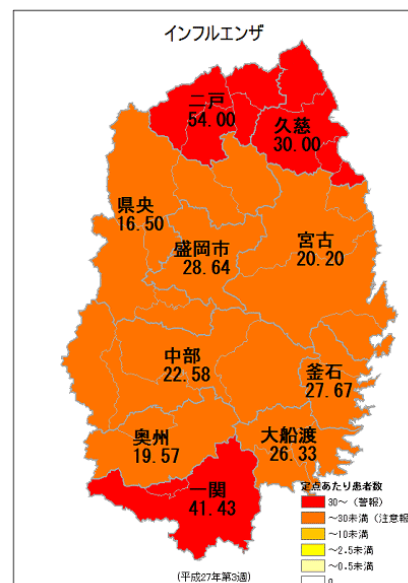
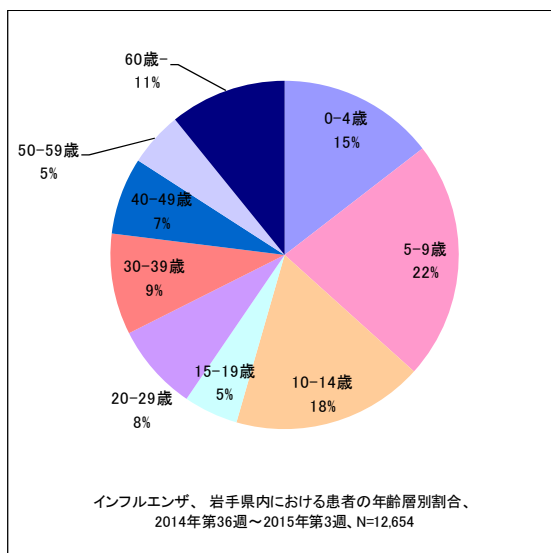
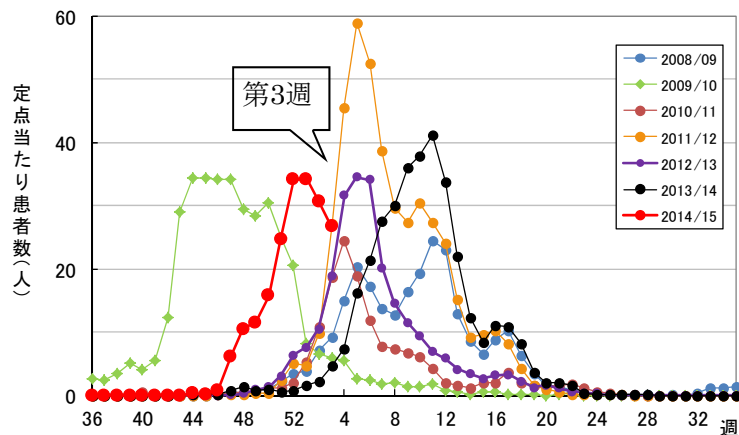
患者の年齢層別は、5～14歳が42%と小中学生が多くを占めています。次いで、0～4歳が14%、60歳以上が10%となっています。また学校等休業措置は、1月14日までに139件報告されています。(昨シーズン6件)

インフルエンザの症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。かかったかなと感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。発病後5～7日間はウイルスが排出されると言われており、熱が下がってもすぐに登校(出勤)しない、咳やくしゃみがあるときはマスクをするなど、他の人への感染を防ぐことも重要です。

予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット(咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出る時はマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けたときはすぐに手を洗うなど)、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。ワクチンは接種後2週間で効果が現れることから、早めの接種が勧められます。

厚生労働省HP インフルエンザQ&A <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

インフルエンザ、岩手県(2008/09-2014/15)



今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

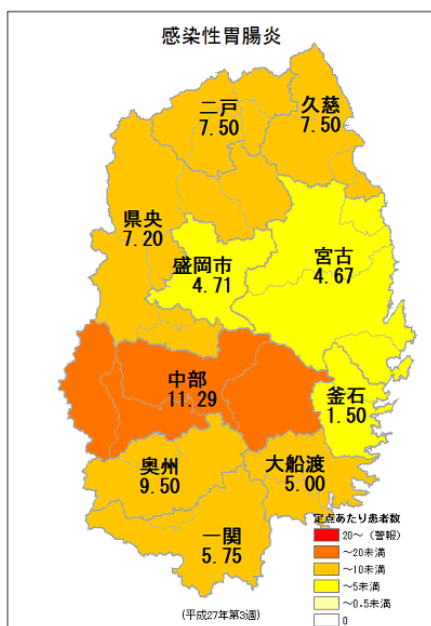
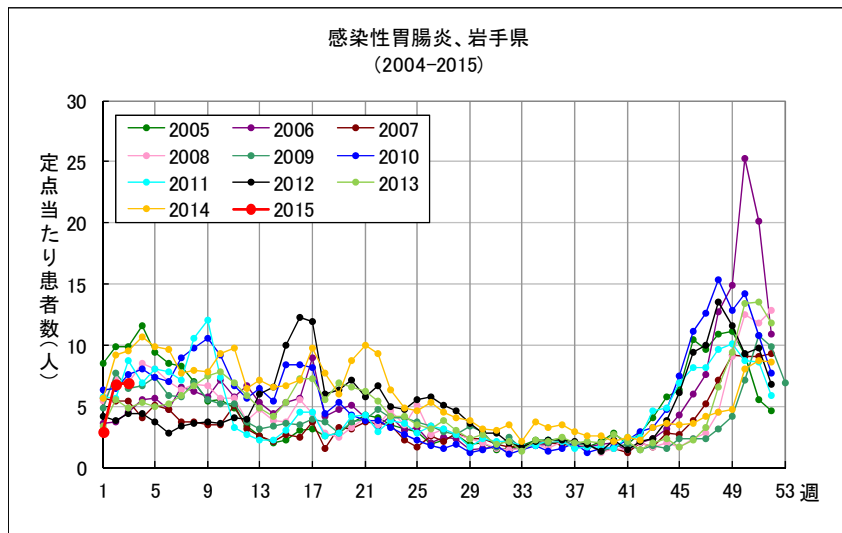
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年、10月から12月にピークを迎えますが、2014年～2015年は報告数の少ない状況で推移しています(下図)。2014年11月からこれまでにノロウイルスやサポウイルスによる集団感染事例が、保育園や老人福祉施設で8事例発生しています。

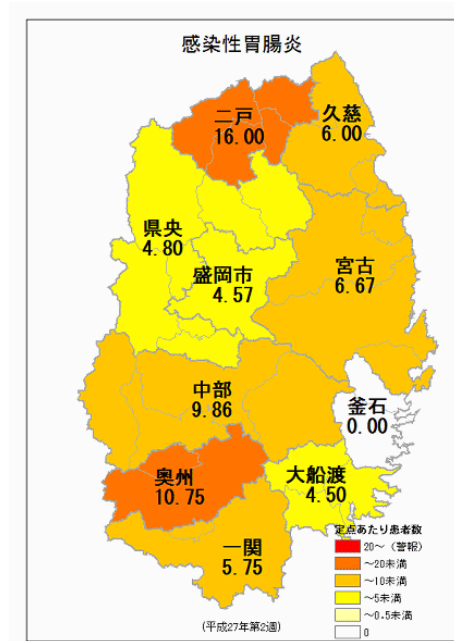
感染性胃腸炎の原因となるウイルスの感染経路は、主に経口感染です。感染力が強いため、保育園や幼稚園など集団生活の場では注意が必要です。予防には、調理前、食事前、用便後に石けんを用いた十分な手洗いと、患者の汚物の適切な処理、食品の十分な加熱(85～90℃で90秒以上)が重要です。

厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)



第3週



第2週

## 病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

### ○感染性胃腸炎の集団発生について

一関市内の保育園（園児数93名、職員数29名）

- ・1月5日（月）から1月15日（木）にかけて、22名（園児21名、職員14名）に症状（嘔吐・下痢等）
- ・有症者3名からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児数109名、職員数23名）

- ・1月5日（月）から1月21日（水）にかけて、22名（園児20名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
- ・有症者7名（園児6名、職員1名）からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児数125名、職員数26名）

- ・1月16日（金）から1月22日（木）にかけて16名（園児15名、職員1名）に症状（嘔吐、下痢、腹痛、発熱等）
- ・有症者7名（園児6名、職員1名）からノロウイルスを確認

### ○食中毒事件の発生について

盛岡市保健所管内の飲食店

- ・発生日 1月15日（木）～1月16日（金）
- ・患者数、症状 11名、嘔吐・下痢、嘔気
- ・原因物質、原因食品 ノロウイルス、1月14日（水）に提供した食事

### ○インフルエンザによる学校等休業措置について（1月15日～1月21日発表分）

- ・岩手県発表 17件
- ・盛岡市発表 3件

詳細は岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

## 医療機関からの情報

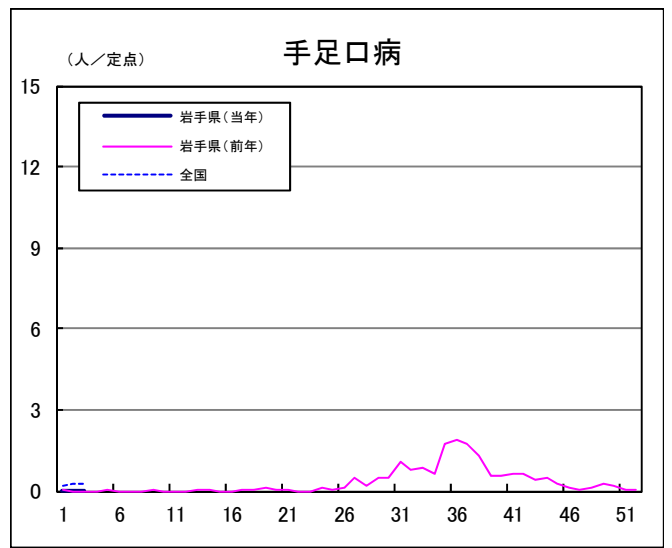
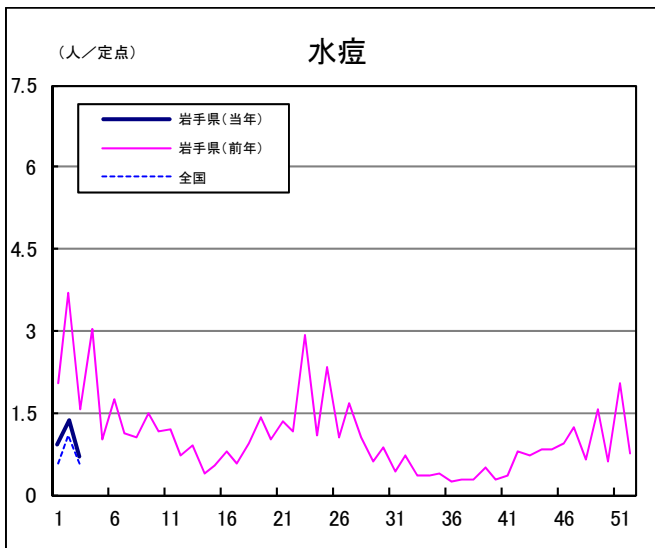
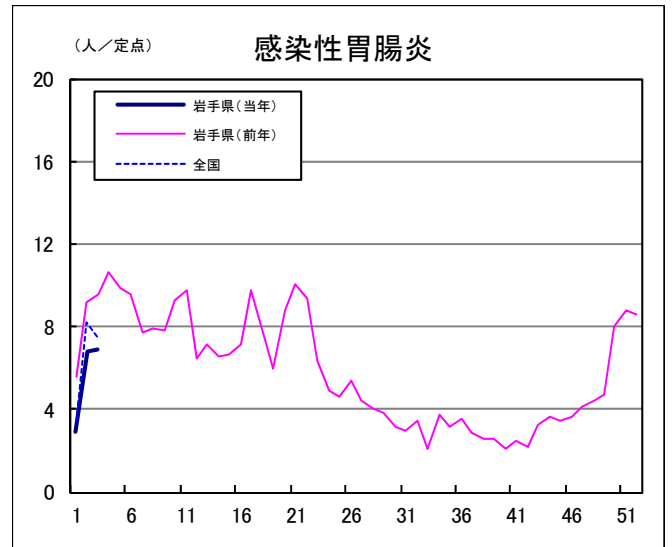
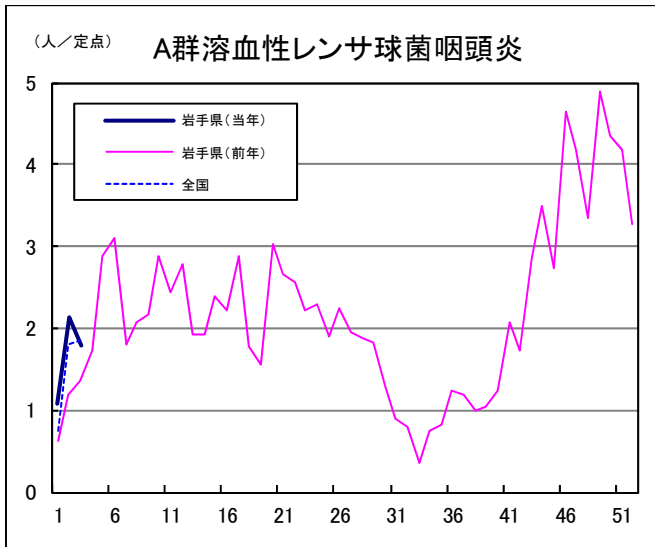
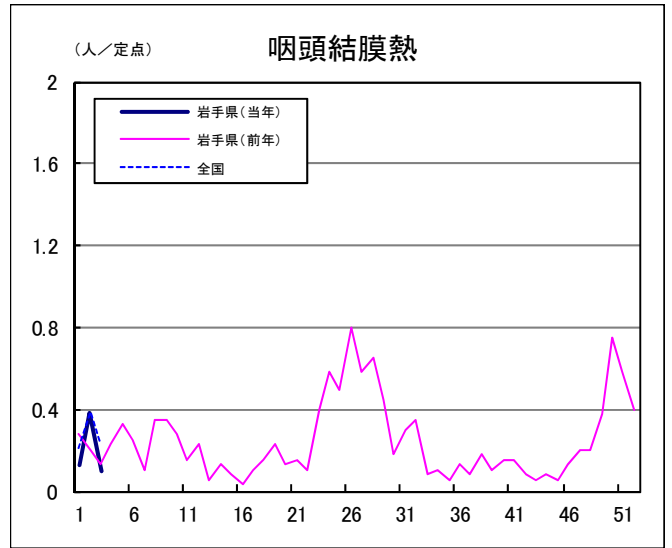
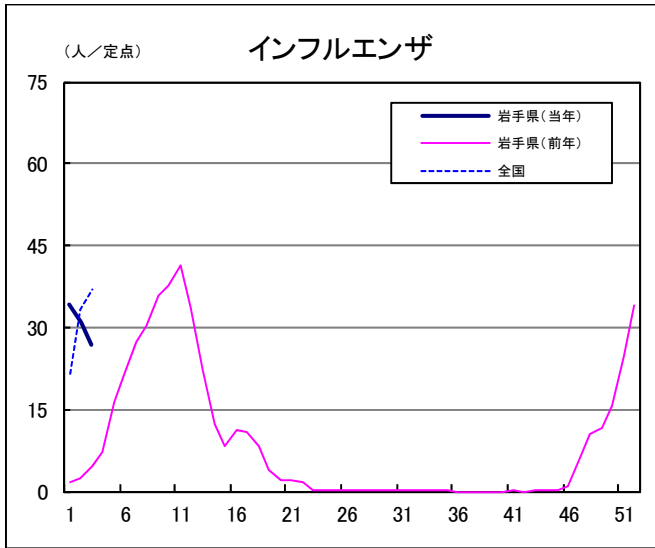
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

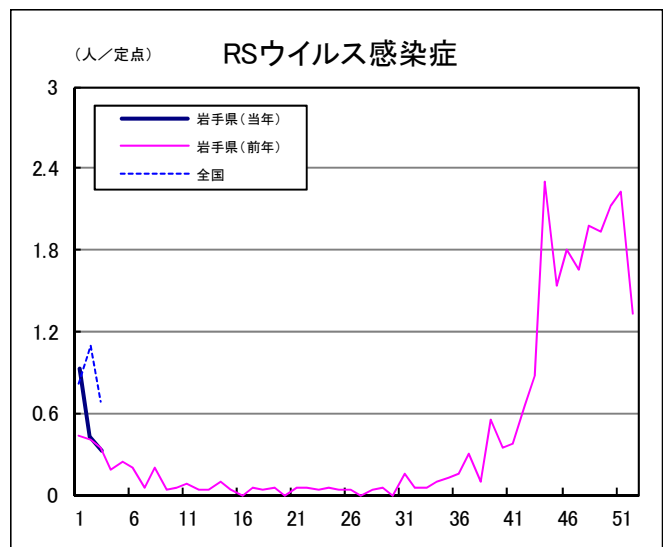
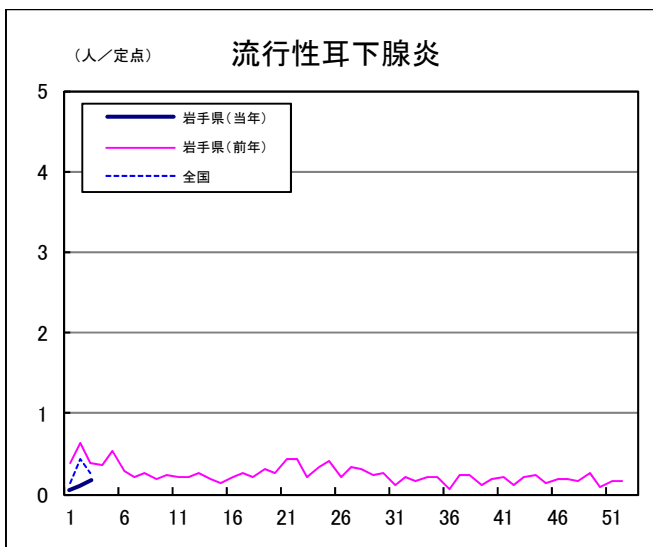
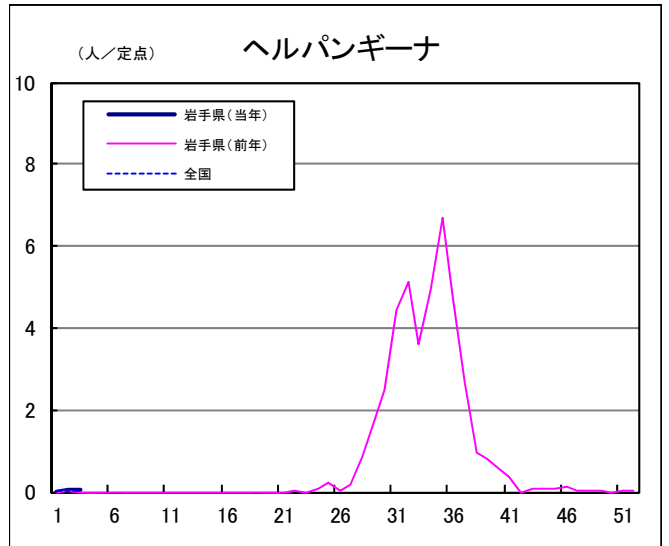
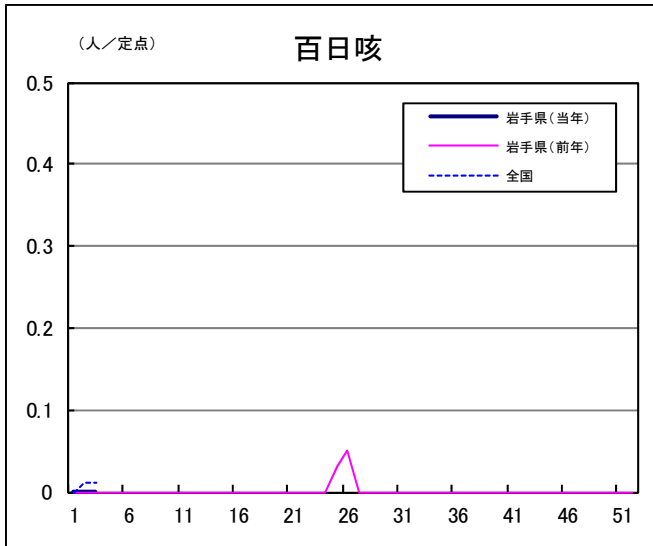
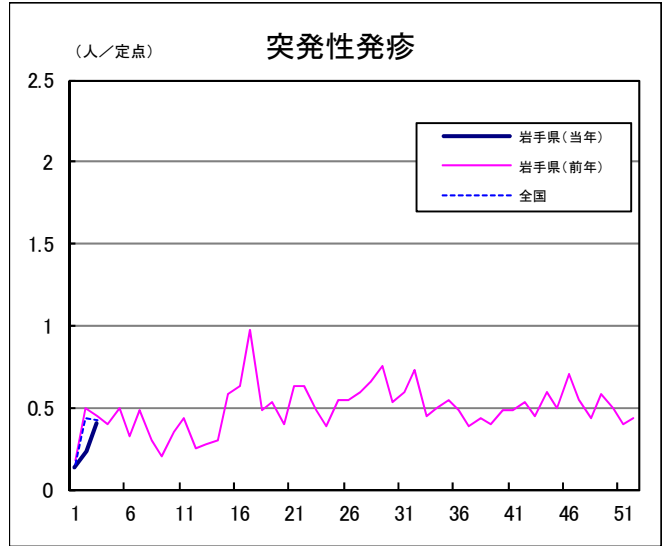
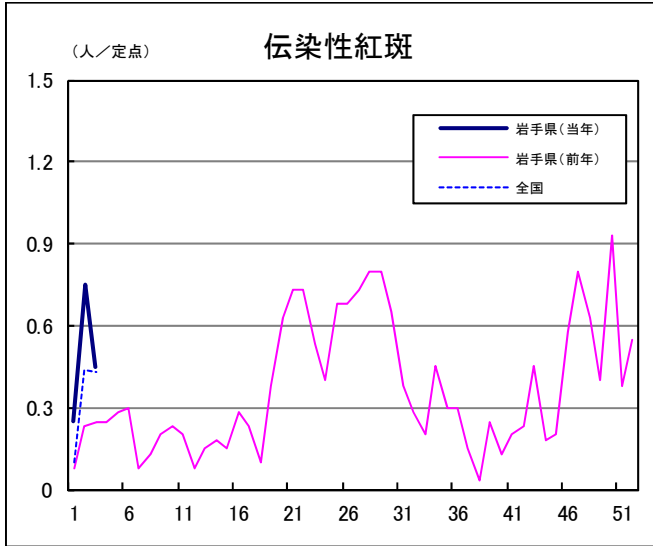
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

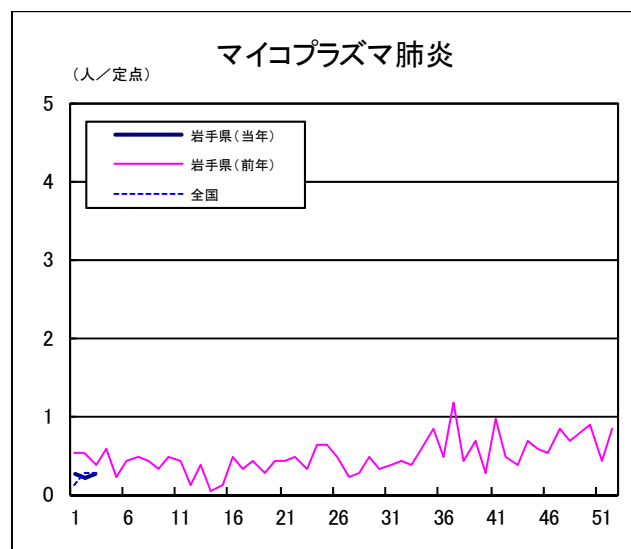
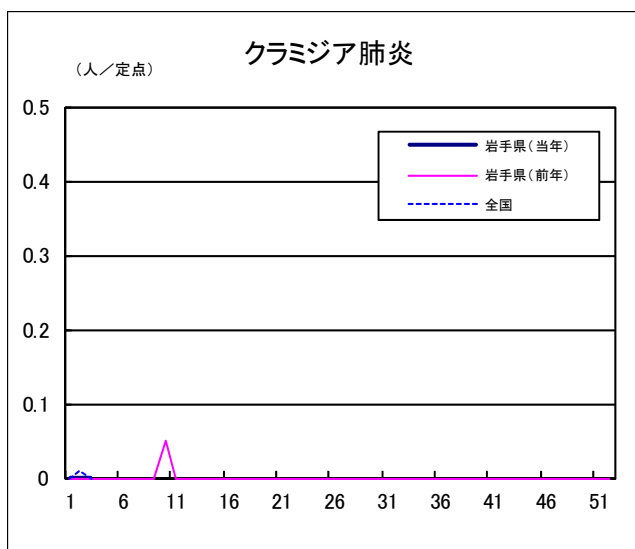
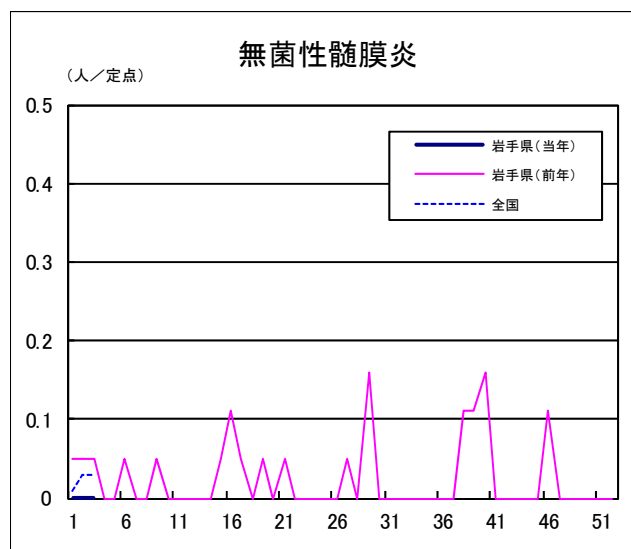
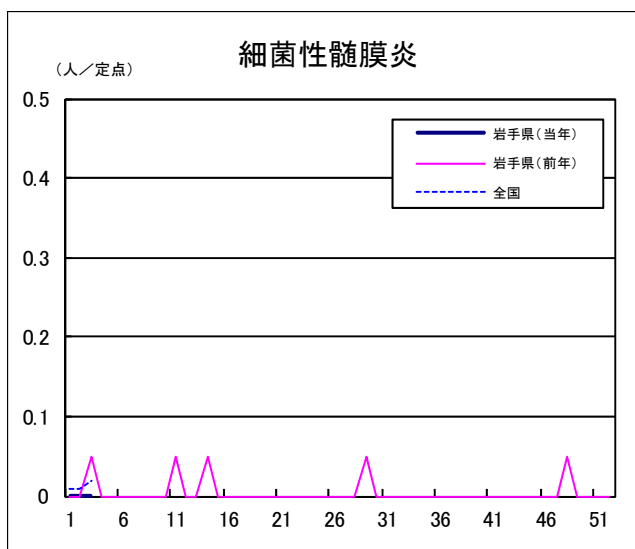
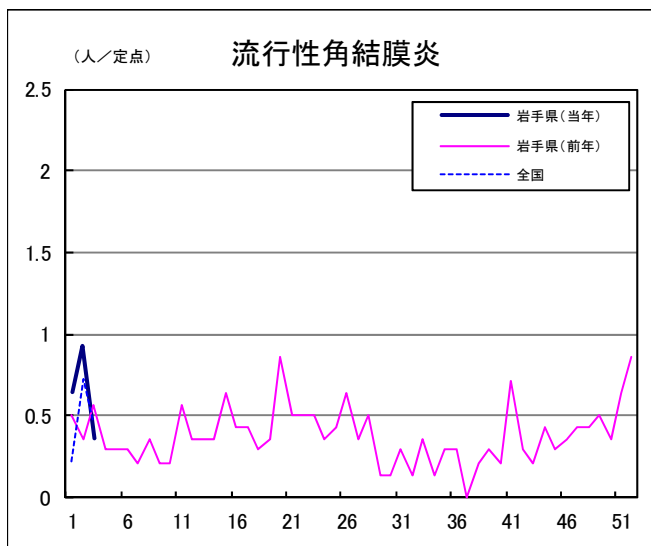
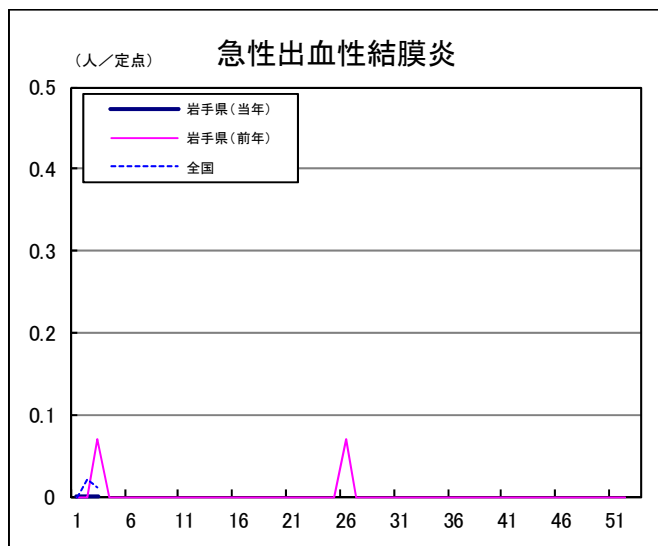
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)



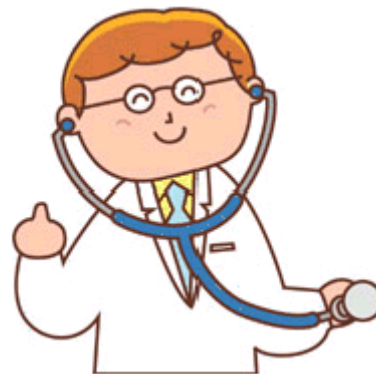






定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成27年第3週 平成27年1月23日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/jouhou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>